

## 東北学院大学 統合認証アカウント：統合認証アカウント利用者ガイド

## 統合認証アカウント利用者ガイド

## ～統合認証システム利用マニュアル～

第 1.00 版/2024. 3. 1

東北学院大学 情報システム部 情報システム課

1. 本書について.....	2 -
2. サービス概要①：統合認証システムと統合認証アカウントについて.....	2 -
2.1. 統合認証システム（extic:エクステック）とは.....	2 -
2.2. 統合認証アカウントについて.....	2 -
2.3. 統合認証システムと連携しているシステムについて.....	2 -
2.4. 利用対象者.....	2 -
2.5. 利用上の注意.....	2 -
3. サービス概要②：統合認証アカウントの多要素認証について.....	4 -
3.1. アプリ認証（Time based One Time Password: TOTP 方式）.....	4 -
3.2. メール認証（Mail One Time Password: MOTP 方式）.....	5 -
3.3. FIDO2 認証（Fast IDentity Online 2: パスワードレス方式）.....	5 -
4. 利用ガイド：ログイン編.....	6 -
4.1. 統合認証システムと認証連携システムの認証用 URL（独自認証画面を除く）.....	6 -
4.2. Google アカウントと Microsoft アカウントの 2 段階認証.....	7 -
4.3. 統合認証システムでの ID とパスワード認証、パスワードレス認証（FIDO2 認証）.....	8 -
4.4. 統合認証システムでの多要素認証.....	10 -
5. 設定概要：統合認証システムにおける必須設定項目.....	12 -
5.1. 新規で統合認証アカウントが発行された方.....	12 -
5.2. 既存の統合認証アカウントで再設定を行いたい方.....	13 -
6. 設定ガイド①：統合認証アカウントのパスワード変更.....	13 -
6.1. パスワード変更手順①（初期パスワード変更、既存パスワードがわかる方）.....	13 -
6.2. パスワード変更手順②（既存パスワードがわからない、パスワードの有効期限が切れた方）.....	16 -
7. 設定ガイド②：多要素認証（アプリ認証）を設定する.....	19 -
7.1. Google Authenticator または Microsoft Authenticator を利用する場合.....	19 -
7.2. Google Chrome 拡張機能を利用する場合.....	27 -
8. 設定ガイド③：多要素認証（メール認証）を設定する.....	32 -
9. 設定ガイド④：パスワード再発行用メールアドレスの登録.....	36 -

## 1. 本書について

本書では、東北学院大学構成員向けに発行される統合認証アカウントを利用者本人において、管理および利用するためガイドとして、統合認証システムにおける各種操作手順や多要素認証を利用するための参考手順を掲載いたします。

## 2. サービス概要①：統合認証システムと統合認証アカウントについて

### 2.1. 統合認証システム（extic:エクスティック）とは

全学共有の認証システムで、本学で運用される様々な学内 IT サービスとアカウント情報の連携を行っております。

### 2.2. 統合認証アカウントについて

統合認証システムから、教職員および学生等の東北学院大学構成員に対して発行される、全学一意のアカウントです（学内 IT サービスによっては、ID のみ、または、ID とパスワードを組合せて統合認証アカウントと呼ぶ場合がありますのでご注意ください）。

### 2.3. 統合認証システムと連携しているシステムについて

統合認証システムと連携している主要なシステムについては東北学院大学 IT ナビ「統合認証アカウント」のサイトをご確認ください。

### 2.4. 利用対象者

- 学部生・大学院生、科目等履修生、特別聴講学生、聴講生、研究生、専門職大学院研修生等
- 教育職員（専任・非常勤）、事務職員（専任・非専任）
- ☆ 「統合認証アカウント」の有効期間は、学校法人東北学院の所属資格を有している間のみとなり、退職/除籍/任期満了までとなります。統合認証アカウントを利用するシステムによってはアカウントの失効後も一定期間利用できるサービスもありますが、あくまでも猶予期限となります。
- ☆ 名誉教授向け統合認証アカウントは、総務課に利用者による申請が必要となります。また、名誉教授向け統合認証アカウントで利用できるサービスは限りがあります。

### 2.5. 利用上の注意

学内 IT サービスを利用する場合（統合認証アカウントの利用も含めて）は、東北学院大学 IT ナビ「利用案内（サイトポリシー）」の「コンピュータとネットワークの利用について」の事項をご一読の上、遵守ください。

また、統合認証システムの利用における注意事項は、次のとおりです。

### ■利用場所の制限について

統合認証システムにおける認証時は、認証を行っている機器のネットワーク接続元が学外である場合、多要素認証が必要となります。

### ■利用時間の制限について

統合認証システムは、認証をしてからブラウザを閉じた場合や認証から 8 時間経過した場合は、再度認証が必要となります。

### ■アカウントの一時ロック

不正アクセスを防止するために、統合認証システムへのログインを 5 回連続で失敗するとアカウントが一時的にロックされます。アカウントが一時的にロックされた場合、30 分以上経過後に再度ログインしてください。(解除できません)

### ■パスワードについて

- アカウント連携を行っているサービスのパスワード変更は、統合認証システムで行うことで、変更したパスワードが同期されます。
- パスワード変更後、統合認証システムはすぐに変更後のパスワードを利用できますが、アカウント連携を行っているサービス等に変更したパスワードが伝播するのに閑散期は 5 分から 10 分程度、繁忙期は数時間程度、時間がかかる場合があります。
- 設定できるパスワードについては、複雑性の条件や履歴管理を行っておりますので、パスワード変更サイト記載事項をご確認ください。
- 統合認証アカウントが発行時を除き、パスワード変更を行った場合、変更後のパスワードの有効期限は 3 6 5 日になります。
- パスワードの有効期限切れのお知らせは、有効期限 2 0 日前に、利用者にて設定した「パスワード再発行用メールアドレス」宛に配信されます。

### ■パスワード再発行手続きについて

- パスワードがわからなくなった等で、ログイン不可となった場合は、統合認証システムのログイン画面の「パスワードを忘れましたか？」からパスワードを変更してください。(利用者による「パスワード再発行メールアドレスの事前登録が必須」)
- パスワード再発行メールアドレスの事前登録を怠っていた場合や、登録したメールアドレスにメールが配信されない場合は、
  - ☆ 教職員証／学生証を持参の上、各キャンパス情報処理センター窓口、土樋 1 号館情報システム課にお越しください。(遠隔対応は行っておりません。)

### ■定期的な設定見直しについて

携帯電話の機種変更やキャリア変更、プロバイダ変更等により、初期スタートアップで登録していた設定の変更が必要になった場合は、速やかに再設定を行ってください。

また、上記内容を踏まえ定期的に設定したメール情報を確認するようにしてください。

### 3. サービス概要②：統合認証アカウントの多要素認証について

本学の統合認証システム(extic)では、統合認証アカウントの認証時に、ID とパスワードの認証と合わせて、アプリ認証とメール認証、FIDO2 認証のいずれかと組合せた多要素認証が必要となります。

※多要素認証は学外ネットワークからの認証時のみ動作します。学内ネットワークの場合は、ID とパスワードのみの認証（FIDO2 設定時はパスワードレス認証も利用できるよう）になります。

※学内ネットワークとは、キャンパス内無線 LAN（TGWIFI）や教職員が大学施設で利用している有線接続サービス等が該当します。

#### 3.1. アプリ認証（Time based One Time Password: TOTP 方式）




認証アプリに表示される OTP（One Time Password）を利用して認証する方法です。

アプリ認証では、統合認証システムとインストールした認証アプリを連携させ、認証アプリに表示される OTP（One Time Password）を extic 認証画面へ入力することでサービスを利用できる仕組みです。

アプリ認証を行うためには Authenticator（オーセンティケーター）と呼ばれる OTP（One Time Password）を生成するアプリケーションが必要です。

Authenticator（オーセンティケーター）は特に指定はございません。自身の利用環境に合う Authenticator を一つ選び、インストールおよび設定を行ってください。

なお、本書では参考情報として、以下に記載するアプリケーションの設定の流れを掲載しています。

Authenticator	Android	iOS	Windows	macOS
 Google Authenticator（目次参照）	○	○	×	×
 Microsoft Authenticator（目次参照）	○	○	×	×
 Google Chrome 拡張機能（目次参照）	×	×	○ (※)	○ (※)

※Google Chrome がインストールされていることが前提条件です。

#### 【Google Authenticator を利用する場合の補足事項】

Google Authenticator を利用する場合は、設定するアカウント種別を選ぶことができます。下図を参考に自身に合ったアカウント形態を選択してください。それぞれメリットとデメリットがありますので必ずご確認ください。

アカウント形態	おすすめする方	注意点
アカウント無し	・ Authenticator の使用頻度が低い方は、アカウント無しでの設定がおすすめです。 →設定が簡易で、時間がかかりません。	・ Google Authenticator を複数端末にインストールする場合、その都度設定作業が必要となります。

Gmail アカウント (個人所有)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すでに個人の Gmail アカウントで Authenticator を利用中の方は、既存アカウントでの設定がおすすめです。 →複数端末で Google Authenticator を利用する場合は、設定が同期されるため都度の設定が不要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Gmail アカウントのパスワードを変更する度に再度設定が必要です。</li> </ul>
Gmail アカウント (大学提供)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人の Gmail 環境を使用したくない方、業務で使用するアカウントを統一したい方は、大学提供の Gmail アカウントでの設定がおすすめです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 統合認証アカウントのパスワードを変更する度に再度設定が必要です。 <b>※本院ではセキュリティ強化を目的として、一定期間ごとのパスワード変更が必須です。</b></li> </ul>

### 3.2. メール認証 (Mail One Time Password: MOTP 方式)

登録したメールアドレス (MOTP アドレス) 宛へ送信されるメールに記載された OTP (One Time Password) を利用して認証する方法です。

メール認証では、統合認証システムに多要素認証設定で登録したメールアドレス宛へ送信されるメールに記載された OTP (One Time Password) を extic 認証画面へ入力することでサービスを利用できる仕組みです。

個人所有のキャリアメールアドレスやフリーメールアドレス (Gmail・Yahoo mail 等) を設定してください。なお、本書では参考情報として設定の流れを掲載しています。

利用できないメールアドレス	主な学内メールサービス
*. tohoku-gakuin. ac. jp / *. tohoku-gakuin. jp	学生メール、教職員メール等

※大学で提供しているメールサービスを利用する際の認証でも OTP が要求されるため、設定するメールアドレスは学外のメールアドレスである必要があります。

※登録するメールアドレスで受信制限等を設定している場合は、「noreply@ex-tic.com」からのメールを受け取れるようにしてください。

### 3.3. FIDO2 認証 (Fast IDentity Online 2: パスワードレス方式)

端末搭載の認証器 (Touch ID / Face ID / Windows Hello) を利用した生体認証等 (FIDO2 認証の規格に準拠した機器) を利用して認証する方法です。

FIDO2 認証の設定は端末により異なるため利用ガイドは用意しておりません。

## 4. 利用ガイド：ログイン編

### 4.1. 統合認証システムと認証連携システムの認証用 URL（独自認証画面を除く）

統合認証システム(extic)にログインする際や統合認証システムと認証連携をしているサービスのうち、多要素認証が対象と記載があるもの（東北学院大学 IT ナビ「統合認証アカウント」参照）のログイン用 URL を記載します。



サービス・システム名称	ログイン用 URL
統合認証システム(extic)	<a href="https://tg.ex-tic.com/">https://tg.ex-tic.com/</a>
manaba course	<a href="https://tohoku-gakuin.manaba.jp/">https://tohoku-gakuin.manaba.jp/</a>
TG-folio	<a href="https://tg-folio.tohoku-gakuin.ac.jp/start/auth/login">https://tg-folio.tohoku-gakuin.ac.jp/start/auth/login</a>
教職員メールシステム（DEEPMail）	<a href="https://webmail.ipc.tohoku-gakuin.ac.jp/">https://webmail.ipc.tohoku-gakuin.ac.jp/</a>
Google Workspace for Education	<a href="https://accounts.google.com/">https://accounts.google.com/</a> ※上記の他にも、Google Chrome やその他のブラウザ等
Microsoft365	<a href="https://portal.office.com/">https://portal.office.com/</a> ※上記の他にも、Office や OneDrive、その他のブラウザ等

※学認関連は SP により異なるので記載は省略いたします。

※これらのサイトはすべて統合認証システム(extic)での認証をおこなっているため、いずれかのサイトにログインをすると、同一ブラウザであれば他のサービスやシステムにアクセスする際、認証が不要となる場合があります。

4.2. Google アカウントと Microsoft アカウントの 2 段階認証

前節で記載したサービスやシステムの内、Google アカウントと Microsoft アカウントはそれぞれ、専用サイトにて、利用するためのアカウントを指定する必要があるため、他のサービスと異なり、2 段階の認証が要求されます。

Google アカウント	Microsoft アカウント
Step1	Step1
<a href="https://accounts.google.com/">https://accounts.google.com/</a>	<a href="https://portal.office.com/">https://portal.office.com/</a>
	
学生：{統合認証アカウント} @g. tohoku-gakuin. ac. jp	学生：{統合認証アカウント} @m. tohoku-gakuin. ac. jp
職員：{統合認証アカウント} @g. tohoku-gakuin. ac. jp {統合認証アカウント} @g. tohoku-gakuin. jp	職員：{統合認証アカウント} @m. tohoku-gakuin. jp
Step2	Step2
	
専用サイトで Google アカウントを指定したあとは統合認証システムに自動遷移するので以降の手順は他のサービスと同様となります。	専用サイトで Microsoft アカウントを指定したあとは統合認証システムに自動遷移するので以降の手順は他のサービスと同様となります。

### 4.3. 統合認証システムでの ID とパスワード認証、パスワードレス認証（FIDO2 認証）

本節では統合認証システム(extic)や認証連携システム（独自認証画面を除く）での統合認証アカウントを利用した認証方法を記載します。

※初期パスワードの変更、多要素認証のアプリ認証・メール認証、パスワード再発行用メールアドレスの登録が完了している前提で記載します。

※学外ネットワークからの利用の場合は、次節記載の多要素認証も要求されます。

※パスワードレス認証は試験的な運用となります。

- 1) [ユーザー名]にログインしたい統合認証アカウントの ID を入力し、[次へ]をクリックします。

※Chrome や safari、Microsoft edge といったインターネット上のWEBページを見るためのWEBクライアントソフト（以降、ブラウザと呼ぶ）の言語設定により英語表記になる場合があります。

※統合認証アカウントの ID を半角英数字小文字で入力してください。

学校法人 東北学院

★統合認証システム（この認証画面extic:エクステイク）のサービス詳細および設定手順については、画面下部のリンクの[東北学院大学ITナビ]をご確認ください。

★ログインを5回連続で失敗するとアカウントが一時的にロックされます（一時ロック：30分間（解除不可））。

ユーザー名

次へ

パスワードを忘れましたか

オンラインサイン情報はここら

び東北学院大学ITナビ

© 2016 EXGEN NETWORKS Co.,Ltd.

留意事項を記載。  
都度更新されます。

利用者ガイド等の利用の詳細はこちら



- 2) [パスワード]にログインしたい統合認証アカウントのパスワードを入力し、[次へ]をクリックします。

※ログインを 5 回連続で失敗するとアカウントが一時的にロックされ、ログインできなくなります（一時ロック：30 分間（解除不可））。

※多要素認証の FIDO2 認証を設定済みの方は、設定済みのデバイスからのご利用であれば、左図の[パスワードレス認証]を選択することで、パスワードを入力せず、ログインができます。FIDO2 認証で登録したデバイスでの認証でない場合は、[パスワード]タブを選択すると、上の図のようにパスワード入力画面が表示されますのでパスワードを入力し、[次へ]をクリックします。

<多要素認証の FIDO2 認証未設定の場合のパスワード認証画面>

The screenshot shows a login interface for '学校法人 東北学院' (Hokkai Gakuen University). It features a blue header and a white central box. Inside the box, there is a message about the authentication system (Extic) and instructions. Below the message, there is a password input field labeled 'パスワード' and a blue button labeled '→ 次へ' (Next). A red rectangle highlights the password field and the 'Next' button. At the bottom of the white box, there is a white button labeled '× キャンセル' (Cancel). Below the white box, there are links for 'パスワードを忘れましたか' (Forgot your password?), 'メンテナンス情報はこちら' (Maintenance information is here), and '東北学院大学ITナビ' (Hokkai Gakuen University IT Navi). The footer shows '© 2016 EXGEN NETWORKS Co., Ltd.'.

<多要素認証の FIDO2 認証設定済の場合のパスワードレス認証画面>

The screenshot shows a login interface for '学校法人 東北学院' (Hokkai Gakuen University). It features a blue header and a white central box. Inside the box, there are two tabs: 'パスワードレス' (Passwordless) and 'パスワード' (Password). The 'パスワードレス' tab is selected. Below the tabs, there is a blue button labeled '→ パスワードレス認証' (Passwordless authentication) and a white button labeled '× キャンセル' (Cancel). A red rectangle highlights the 'パスワード' tab. An orange callout box with the text 'ここをクリックすると上の画面に遷移' (Click here to move to the screen above) points to the 'パスワード' tab. Below the white box, there are links for 'パスワードを忘れましたか' (Forgot your password?), 'メンテナンス情報はこちら' (Maintenance information is here), and '東北学院大学ITナビ' (Hokkai Gakuen University IT Navi). The footer shows '© 2016 EXGEN NETWORKS Co., Ltd.'.

#### 4. 4. 統合認証システムでの多要素認証

本節では、学外ネットワークからの接続の際、「4. 3. 統合認証システムでの ID とパスワード認証」の認証の後に多要素認証が要求された場合の認証方法を説明します。まず、認証手順を説明する前に、多要素認証のアプリ認証、メール認証、FIDO2 認証の設定状態の組合せにより次のように認証画面が変動します。

##### ■FIDO2 認証設定時と通常パスワード認証時の画面差

多要素認証 FIDO2 未設定	多要素認証 FIDO2 設定済
	

※パスワードレス認証＝多要素認証の扱いであるため、学外ネットワークからでも 2 段階認証は不要です。


##### ■ID とパスワード認証後の多要素認証画面差

アプリ認証のみ		メール認証のみ	FIDO2 認証のみ	
				
アプリ認証とメール認証		アプリ認証と FIDO2 認証	メール認証と FIDO2 認証	すべて
				

※複数設定パターンでアプリ認証をクリックすると[アプリ認証のみ]の画面に、メール認証をクリックすると[メール認証のみ]の画面に、パスワードレス認証をクリックすると[FIDO2 認証のみ]に遷移します。

※以降に ID とパスワード認証後の多要素認証利用手順を記載しますが、前提として、「4. 3. 統合認証システムでの ID とパスワード認証」の後からの手順となります。また、多要素認証を複数設定しているかの状態は利用者の設定状況によるため、ここでは「アプリ認証のみ」と「メール認証のみ」を掲載します。

#### <メール認証のみ>

<p>1) [ワンタイムパスワードを送信]をクリックします。</p>	
<p>2) ワンタイムパスワードを送信したメッセージを確認してから、メール認証設定を行ったメールアドレスのメールボックスを確認し、ワンタイムパスワードを確認します。</p> <p>3) 2)で確認したワンタイムパスワードを[ワンタイムパスワード]に入力し、[次へ]をクリックします。</p> <p>※ワンタイムパスワードは 10 分程度で有効期限が切れるので、期限内か確認し、期限が切れている場合は再度 1) を行ってください。</p>	

<アプリ認証のみ>

- 1) アプリ認証設定を行ったアプリケーションを起動し、ワンタイムパスワードを確認します。
- 2) 1)で確認したワンタイムパスワードを[ワンタイムパスワード]に入力し、[次へ]をクリックします。

※ワンタイムパスワードは 20-30 秒程度で自動更新されるので、入力する時間が少ない場合は一度更新されるのを待ってから入力することを推奨します。



## 5. 設定概要：統合認証システムにおける必須設定項目

### 5.1. 新規で統合認証アカウントが発行された方

初期状態の統合認証アカウントでは、学内 IT サービスを利用できないため、アカウントを新規で発行された方は、利用者において必ず以下の 4 つの設定を行ってください。

①	初期パスワードの変更	6.1 節参照
②	多要素認証のアプリ認証の登録	7 章参照
③	多要素認証のメール認証の登録	8 章参照
④	パスワード再発行用メールアドレスの登録	9 章参照
任意	多要素認証の FIDO2 認証の登録	手順の用意はありません。

#### 【設定時に必要なもの】

- 学生番号または教職員番号/初期パスワード
- 配付資料：【重要】統合認証システムと統合認証アカウントについて

※配付時期：(学生：オリエンテーション、教職員：奉職時)

※入学前/奉職前に設定は行えません。

※初期パスワードの有効期限はアカウント発行から 15 日以内となります。

⇒原則、入学日や奉職日、採用日からの換算となりますが、年度始めは大量のアカウント発行が必要であるため予約登録をしている場合があります。この場合、上記期限より前に期限が切れるため、期限に関わらず入学・奉職後すぐに設定を行ってください。

## 5.2. 既存の統合認証アカウントで再設定を行いたい方

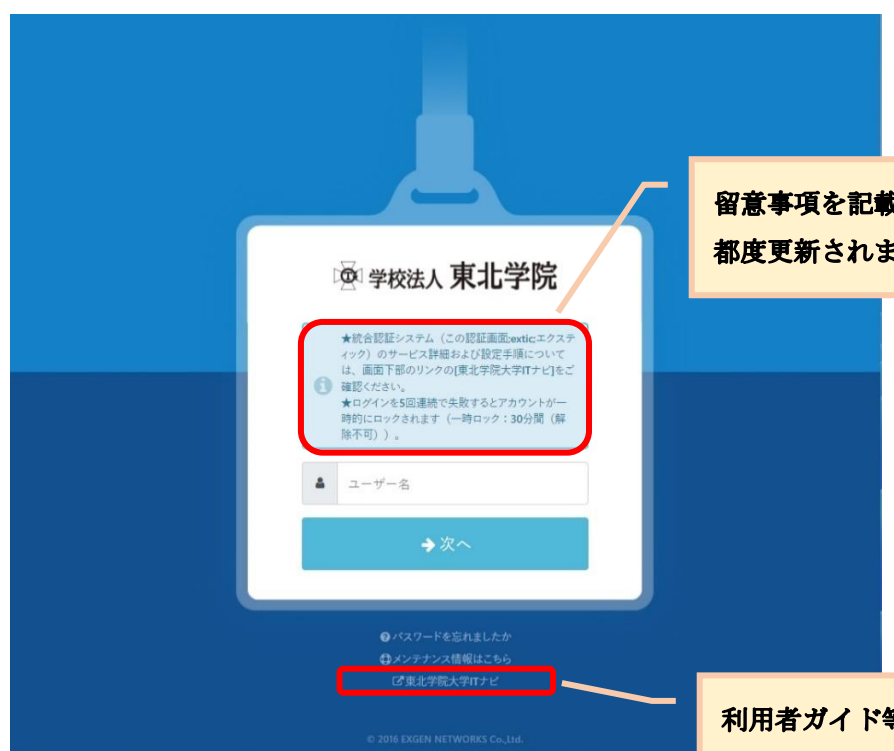
パスワードを変更したい	1-1	パスワードがわかる[6.1 節参照]
	1-2	パスワードがわからない[6.2 節参照]
	1-3	1-2 でメールが届かない[2.5 節参照] ※「■パスワード再発行手続きについて」の2項目
多要素認証のアプリ認証の登録	2-1	多要素認証のアプリ認証の登録 多要素認証のアプリ認証の変更[7 章参照]
多要素認証のメール認証の登録	3-1	多要素認証のメール認証の登録 多要素認証のメール認証の変更[8 章参照]
パスワード再発行用メールアドレスの登録	4-1	パスワード再発行用メールアドレスの登録 パスワード再発行用メールアドレスの変更[9 章参照]
多要素認証の FIDO2 認証の登録	5-1	手順の用意はありません。

## 6. 設定ガイド①：統合認証アカウントのパスワード変更

### 6.1. パスワード変更手順①（初期パスワード変更、既存パスワードがわかる方）

多要素認証の FIDO2 認証未設定の前提で記載します。FIDO2 認証を設定済みの場合、パスワード入力画面のデザインが変わります。その際の手順は 4.3 節を参考にしてください。

- 1) 統合認証システム(extic)のパスワード変更サイト  
(<https://tg.ex-tic.com/idm/user/password/>) にアクセスすると、次のようなログイン画面が表示されます。



- 2) [ユーザー名]にログイン  
したい統合認証アカウン  
トの ID を入力し、[次へ]  
をクリックします。


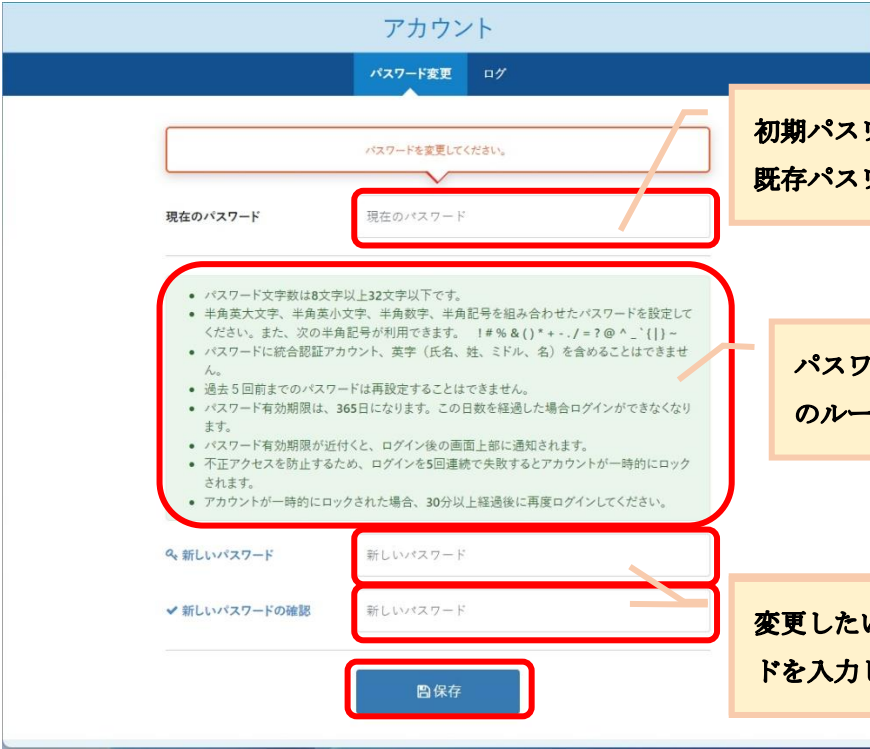


※Chrome や safari、Microsof  
t edge といったインターネッ  
ト上のWEB ページを見るた  
めのWEB クライアントソフ  
ト（以降、ブラウザと呼ぶ）  
の言語設定により英語表記に  
なる場合があります。

※統合認証アカウントの ID を  
半角英数字小文字で入力して  
ください。



- 3) [パスワード]にログイン  
したい統合認証アカウン  
トのパスワードを入力  
し、[次へ]をクリックし  
ます。

※ログインを 5 回連続で失敗  
するとアカウントが一時的に  
ロックされ、ログインできな  
くなります（一時ロック：30  
分間（解除不可））。

※ブラウザが ID とパスワード  
を記憶するか確認がある場合  
は任意で設定してください。  
ただし、初期設定の場合、初  
期パスワードはすぐに変更す  
るので、この場合はブラウザ  
に登録しないことを推奨しま  
す。

<p>4) 条件分岐</p>	<p>■初期設定の方、既存アカウントで学内ネットワークから接続の方 自動で 5) に進みます。</p> <p>■既存アカウントで多要素認証未設定の方 「7. 設定ガイド②：多要素認証（アプリ認証）を設定する」と「8. 設定ガイド③：多要素認証（メール認証）を設定する」の両方の設定を行ってから、画面上部の[パスワード変更]タブを選択すると 5) に進みます。</p>  <p>■既存アカウントで多要素認証設定済で学外ネットワークから接続の方 利用者の多要素認証の設定に応じて認証画面が異なります。4. 4 節記載のいずれかの認証方法で、多要素認証を行うと 5) に進みます。</p>
<p>5) [現在のパスワード]にログインで利用したパスワードを入力します。</p> <p>6) 「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認」にパスワード設定のルールを満たす新しいパスワードを入力します。</p> <p>※入力ミスで再ログインができるケースが多いです。手入力ではなく、Word やエディタなどで入力した文字列が目に見える状態のものをコピーし、貼り付ける方法での設定することを推奨します。特に記号はスマートフォンで入力しやすいものを選択することも踏まえ設定してください。</p> <p>7) 「保存」をクリックします。</p>	<p>■初期設定時の画面（状態によりタブに表示される項目が変わります。）</p>  <p>初期パスワード or 既存パスワード</p> <p>パスワード設定のルールを確認</p> <p>変更したいパスワードを入力します。</p> <p>■初期設定パスワード変更後の統合認証システムのタブ</p>  <p>■初期設定パスワード、多要素認証設定後の統合認証システムのタブ</p> 





<p>8) パスワード処理の結果の画面が表示されますので [結果] が処理中の表示から変わるまで、何度か [更新] をクリックします。</p>	
<p>9) [結果] が成功となれば、パスワード変更は完了です。</p> <p>※「2. 5. 利用上の注意」に記載のとおり、連携システムに変更したパスワードが同期されるのに、数分から数時間程度かかる場合があります。まずは、変更したパスワードでログインを試みていただき、仮にログインができない場合は、数分お待ち頂き、それでもログインができない場合は、パスワード変更前のパスワードでログインを行ってください。</p>	

## 6. 2. パスワード変更手順②（既存パスワードがわからない、パスワードの有効期限が切れた方）

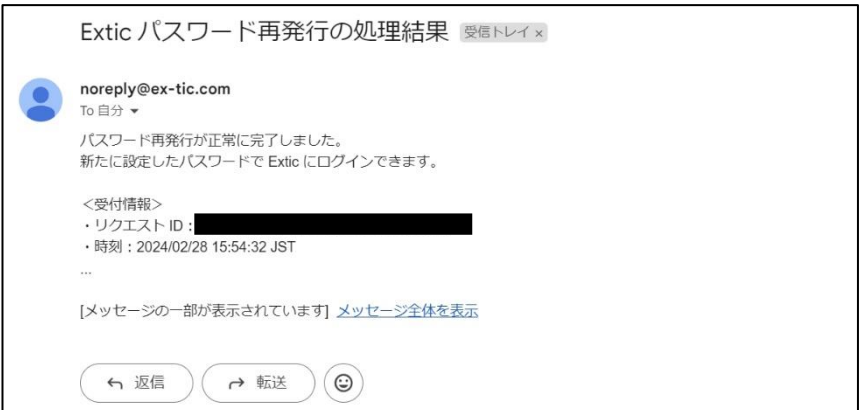

※本手順は利用者にてパスワード再発行用メールアドレスを設定している場合のみ利用できます。

※パスワード再発行用メールアドレスが未設定、設定済みだがメールが届かない場合は、本書「2. 5. 利用上の注意」の「パスワード再発行手続きについて」をご確認ください。



<p>1) 統合認証システム(extic) (<a href="https://tg.ex-tic.com/">https://tg.ex-tic.com/</a>) にアクセスし、ログイン画面の下部にある[パスワードを忘れましたか]をクリックします。</p> 	
<p>2) [メールアドレス]に利用者にて設定したパスワード再発行用メールアドレスを入力し、[送信する]をクリックします。</p> <p><b>事前に登録したパスワード再発行用メールアドレスを入力</b></p>	
<p>3) 事前に登録したパスワード再発行用メールアドレス宛にワンタイムパスワードが送付されることを確認します。</p> <p>※メールが届かない場合この機能は利用できません。2.5 節記載の手続きに移行してください。</p>	 <p>※特定条件でスレッドとしてグループ化され表示がされる場合があります、有効期限等確認し、最新のものを利用ください。または、ご利用のメールのスレッド表示を解除もご検討ください。</p>

<p>4) 「ワンタイムパスワード」に3) で届いたワンタイムパスワードを入力します。</p> <p>5) 「新しいパスワード」と「確認入力」にパスワード設定のルールを満たす新しいパスワードを入力します。</p> <p>※入力ミスで再ログインができなくなるケースが多いです。手入力ではなく、Word やエディタなどで入力した文字列が目に見える状態のものをコピーし、貼り付ける方法で設定することを推奨します。</p> <p>6) 「次へ」をクリックします。</p>	<div><h3>パスワード再発行</h3><p>🔍 ワンタイムパスワード <input type="text" value="ワンタイムパスワード"/></p><div><ul style="list-style-type: none"><li>パスワード文字数は8文字以上32文字以下です。</li><li>半角英大文字、半角英小文字、半角数字、半角記号を組み合わせたパスワードを設定してください。また、次の半角記号が利用できます。 ! # % &amp; ( ) * + - . / = ? @ ^ _ ` {   } ~</li><li>パスワードに統合認証アカウント、英字（氏名、姓、ミドル、名）を含めることはできません。</li><li>過去5回前までのパスワードは再設定することはできません。</li><li>パスワード有効期限は、365日になります。この日数を経過した場合ログインができなくなります。</li><li>パスワード有効期限が近付くと、ログイン後の画面上部に通知されます。</li><li>不正アクセスを防止するため、ログインを5回連続で失敗するとアカウントが一時的にロックされます。</li><li>アカウントが一時的にロックされた場合、30分以上経過後に再度ログインしてください。</li></ul></div><p>🔍 新しいパスワード <input type="text" value="新しいパスワード"/></p><p>✓ 確認入力 <input type="text" value="新しいパスワード"/></p><p><a href="#">→ 次へ</a></p><p>© 2016 EXGEN NETWORKS Co.,Ltd.</p></div> <div><p>パスワード再発行用メールアドレスに送付されたワンタイムパスワードを入力します。</p><p>パスワード設定のルールを確認</p><p>変更したいパスワードを入力します。</p></div>
<p>7) パスワード再発行の処理を受け付けたと表示されます。</p>	<div><h3>パスワード再発行</h3><div><p>パスワードの再発行を受け付けました。 「パスワード再発行用メールアドレス」に、処理結果をお知らせします。</p></div><div><p>📘 処理結果のメールが届かず、新しいパスワードでログインできない場合は、パスワード再発行を再実施いただくか、以下受付情報を書き添えて管理者までお問い合わせください。</p></div><div><p>📧 受付情報</p><div><p>リクエスト ID: <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span></p><p>時刻: 2024/02/28 15:54:32</p></div><p><a href="#">📋 コピー</a></p></div><p><a href="#">← ログイン画面へ</a></p><p>© 2016 EXGEN NETWORKS Co.,Ltd.</p></div>

<p>8) 処理が完了すると、パスワード再発行用メールアドレス宛に連絡が届きますので、このメールの受信をもってパスワード変更は完了となります。</p>	
<p>9) 8)のメールを確認してから、[ログイン画面へ]をクリックし、設定変更したパスワードでログインができるかお試しください。</p>	

## 7. 設定ガイド②：多要素認証（アプリ認証）を設定する

ご利用の端末によって設定方法が異なりますので、ご自身の環境に合わせて設定を行ってください。

- スマートフォンまたはタブレットをお持ちの方  
⇒ 「6.1. Google Authenticator または Microsoft Authenticator を利用する場合」へ
- スマートフォンまたはタブレットをお持ちでない方（PC 利用）  
⇒ 「6.2. Google Chrome 拡張機能を利用する場合」へ

### 7.1. Google Authenticator または Microsoft Authenticator を利用する場合

本節でのアプリ認証の設定は、以下の流れで行います。

1. アプリケーションの初期設定
2. 統合認証システム(extic)での設定画面の表示
3. アプリケーションでの統合認証アカウントの登録
4. 統合認証システム(extic)での設定

以降の手順は設定する前に次の点をご確認ください。

- ・アプリ認証をインストールする端末は常に携帯するスマートフォンやタブレットを推奨します。
- ・アプリ認証の設定は、QRコードを利用する方法と、セットアップキーを利用する方法があります。
  - ※ QRコードを利用する場合、QRコードの撮影が必要であるため端末が2台必要となります。
  - ※ セットアップキーを利用する場合、端末1台で設定可能です。
- ・アプリケーションはアップデート等で画面イメージがすぐに更新されます。また、すでに個人で学外のサービス利用でご利用いただいている場合や端末のダークモード、画面設定など、利用者環境に応じて設定の流れや画面イメージが異なることがありますので、本書掲載事項は参考としてご認識いただき、本書にとらわれずアプリの指示に従って設定を行ってください。


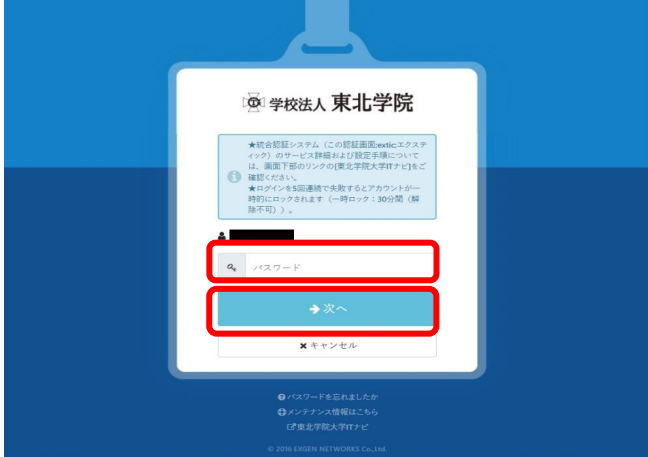
(1) アプリケーションの初期設定

	Google Authenticator	Microsoft Authenticator
1) スマートフォンまたはタブレットにアプリケーションをインストールします。	<div>iOS(AppStore) </div> <div>Android(GooglePlay) </div>	<div>iOS(AppStore) </div> <div>Android(GooglePlay) </div>
2) アプリケーションを起動し、画面の内容に沿って操作を進めます。		

<p>3) 使用するアカウント形態によって、操作方法が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 個人所有または大学提供の Gmail アカウントで設定する場合 画面の流れに従ってサインインを行います。</li> <li>➤ アカウント無しで設定する場合 [アカウントなしで使用／スキップ]をクリックします。</li> </ul>		
<p>4) 右図のような画面が表示されましたら、次の設定手順へお進みください。</p>		

## (2) 統合認証システム(extic)での設定画面の表示

以降手順上、毎回ログインを行うように記載がされておりますが、すでにログイン済みであれば、認証手順は読み飛ばしてください。また、多要素認証の FID02 認証未設定の前提で記載します。FID02 認証を設定済みの場合、パスワード入力画面のデザインが変わります。その際の手順は 4.3 節を参考にしてください。

<p>1) 統合認証システム(extic) (<a href="https://tg.extic.com/">https://tg.extic.com/</a>) にアクセスし、[ユーザー名]にログインしたい統合認証アカウントの ID を入力し、[次へ]をクリックします。</p> <p>※Chrome や safari、Microsoft edge といったインターネット上のWEBページを見るためのWEBクライアントソフト（以降、ブラウザと呼ぶ）の言語設定により英語表記になる場合があります。</p> <p>※統合認証アカウントの ID を半角英数字小文字で入力してください。</p>	
<p>2) [パスワード]にログインしたい統合認証アカウントのパスワードを入力し、[次へ]をクリックします。</p> <p>※ログインを 5 回連続で失敗するとアカウントが一時的にロックされ、ログインできなくなります（一時ロック：30 分間（解除不可））。</p>	
<p>3) 条件分岐</p>	<p>■初期設定の方</p> <p>初回パスワード変更後の流れであれば自動で 5) に進みます。</p> <p>■既存アカウントで多要素認証未設定の方</p> <p>自動で 5) に進みます。</p> <p>■既存アカウントで学内ネットワークから接続の方</p> <p>自動で 4) に進みます。</p> <p>■既存アカウントで多要素認証設定済で学外ネットワークから接続の方</p> <p>利用者の多要素認証の設定に応じて認証画面が異なります。4. 4 節記載のいずれかの認証方法で、多要素認証を行うと 4) に進みます。</p>

- 4) ログイン後、画面上部の[多要素認証 (OTP)]をクリックしてください。



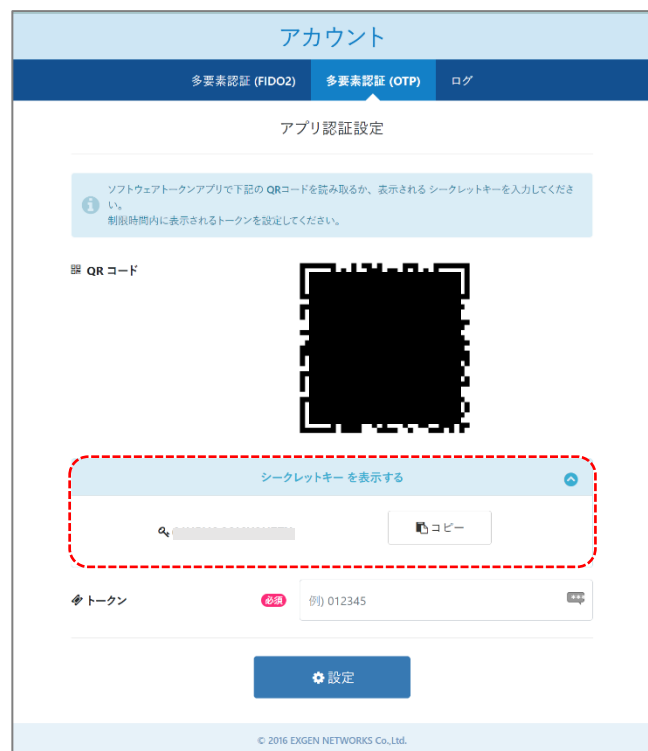
- 5) [アプリ認証]の[設定]をクリックします。

※ スマートフォンの機種変更等で連携済みのアプリを変更したい場合は、[解除]をクリックし、表示されるポップアップの[解除]を選択してから再設定をします。




- 6) QR コードが表示されるので、次の設定手順に進んでください。

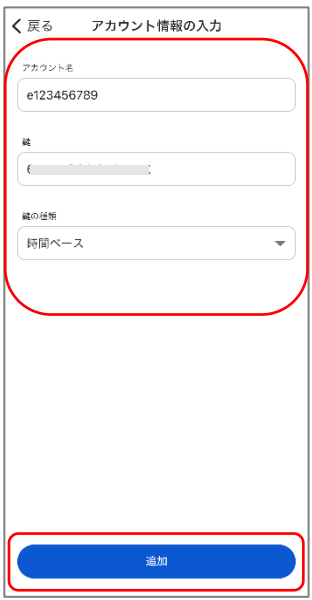



※シークレットキーは、アプリケーションを操作するスマートフォンまたはタブレット以外の機器をお持ちでない場合に必要となります。必要に応じて、「シークレットキーを表示する」よりご確認ください。



## (3) アプリケーションでの統合認証アカウントの登録

	Google Authenticator	Microsoft Authenticator
1) アプリケーションのホーム画面を開き、[コード/アカウントを追加]をクリックします。		
2) 条件分岐 <ul style="list-style-type: none"> <li>・端末 2 台で作業している場合は、<u>QR コードを用いた設定</u>へ</li> <li>・端末 1 台で作業している場合は、<u>セットアップキーを用いた設定</u>へ</li> </ul>		
<p>■ <u>QR コードを用いた設定</u></p> <p>※別の端末で QR コードを表示できる場合のみ、利用できます。</p> <p>➤ Google Authenticator [QR コードをスキャン]をクリックします。</p> <p>➤ Microsoft Authenticator [その他]をクリックします。</p> <p>カメラが起動しますので、別の端末で表示している extic 設定画面の QR コードを読み取ります。</p>		
<p>■ <u>セットアップキーを用いた設定</u></p> <p>➤ Google Authenticator [セットアップキーを入力]をクリックします。</p> <p>➤ Microsoft Authenticator [その他]をタップし、カメラ画面で[またはコードを手動で入力]をクリックします。</p>		



<p>アカウント情報の入力画面に遷移しますので、次の情報を入力し、[追加/完了]をクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・アカウント名： 統合認証アカウントのユーザーID</li><li>・鍵／秘密鍵： extic の設定画面で表示された シークレットキー</li><li>・鍵の種類（Google Authenticator のみ）： 時間ベース</li></ul>		
<p>3) 6桁のワンタイムパスワードが表示されたら、次の設定手順へお進みください。</p>		

(4) 統合認証システム(extic)での設定

<div>1) extic の設定画面に戻り、[トークン]にアプリケーションで表示されたワンタイムパスワードを入力し、[設定]をクリックします。</div> <div>※ワンタイムパスワードは 20-30 秒程度で自動更新されるので、入力する時間が少ない場合は一度更新されるのを待ってから入力することを推奨します。</div>	<div></div>
<div>2) [アプリ認証]が設定済に変われば完了です。</div>	<div></div>

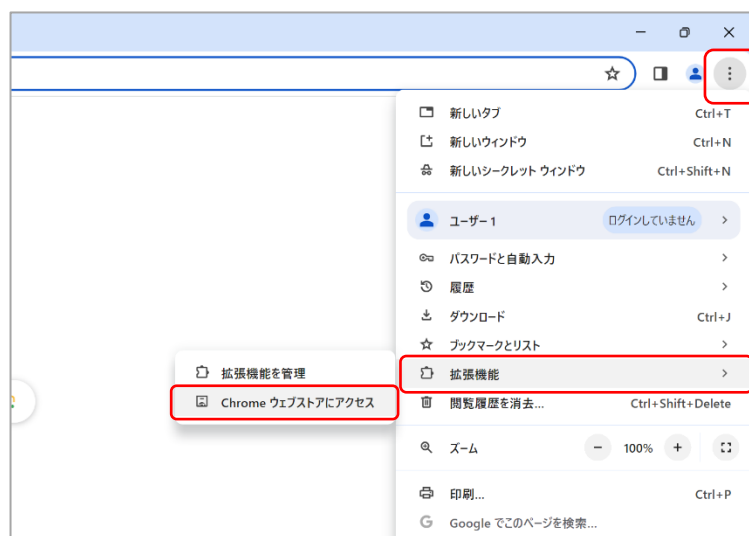
## 7.2. Google Chrome 拡張機能を利用する場合

以降の手順は設定する前に次の点をご確認ください。

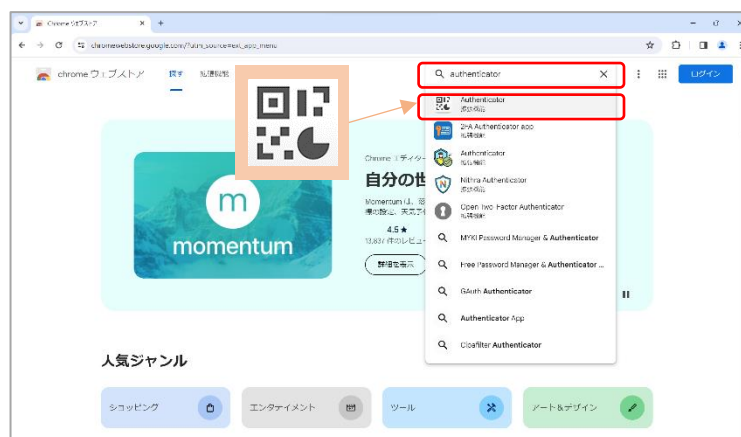
- Google Chrome 拡張機能での利用を推奨する方は次のような方になります。
  - スマートフォンまたはタブレットをお持ちでない方
  - スマートフォンに Authenticator をインストールしたくない方で、かつ、ノート PC を常に持ち歩く方
  - 学外から統合認証アカウントを利用しない方で、かつ、事務室などの常設 PC のみをご利用の方
- 以降の手順は PC に Google Chrome がインストールされていることが前提で記載します。
- ゲストモードやシークレットモードでは拡張機能を追加できません。
- 大学発行 Google アカウント (@g. tohoku-gakuin. ac. jp) は拡張機能をご利用できません。個人所有の Gmail アカウントでブラウザにサインインするか、教職員専用の大学発行 Google アカウント (@g. tohoku-gakuin. jp) をご利用ください。
- アプリケーションはアップデート等で画面イメージがすぐに更新されます。また、すでに個人で学外のサービス利用でご利用いただいている場合や端末のダークモード、画面設定など、利用者環境に応じて設定の流れや画面イメージが異なることがありますので、本書掲載事項は参考としてご認識いただき、本書にとらわれずアプリの指示に従って設定を行ってください。

### (1) アプリケーションの初期設定

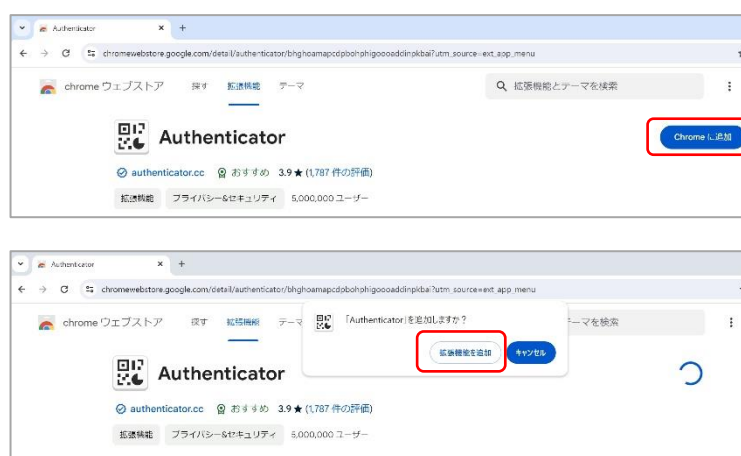
- 1) Google Chrome を起動し、画面右上の [:] > [拡張機能] > [Chrome ウェブストアにアクセス] をクリックします。



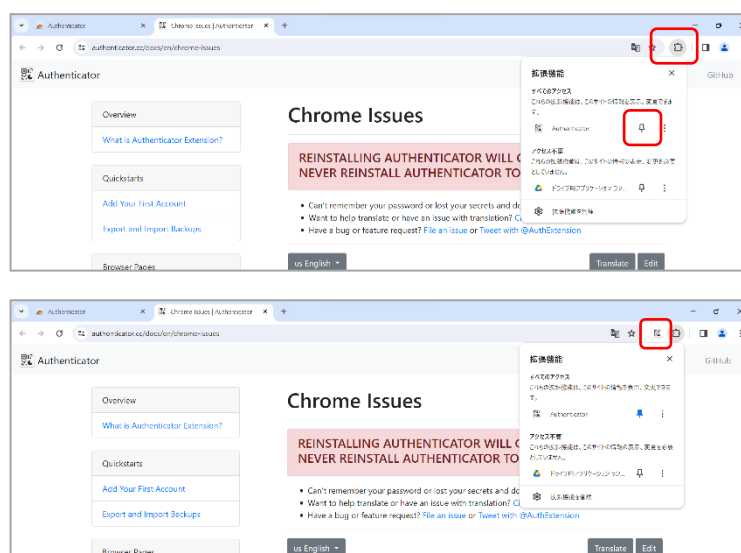
- 2) 検索窓に[Authenticator]と入力します。今回は右図アイコンの Authenticator を使用しますので、表示された候補の中からクリックします。



- 3) [Chrome に追加]をクリックし、[拡張機能を追加]してください。



- 4) 右図のような画面が表示されましたら、画面右上の[拡張機能アイコン (パズルのピースのようなマーク)]をクリックし、Authenticator を[ピン留め]すると、画面上部に追加した拡張機能のアイコンが表示されます。



- 5) 次の設定手順へお進みください。

## (2) 統合認証システム(extic)での設定画面の表示と設定

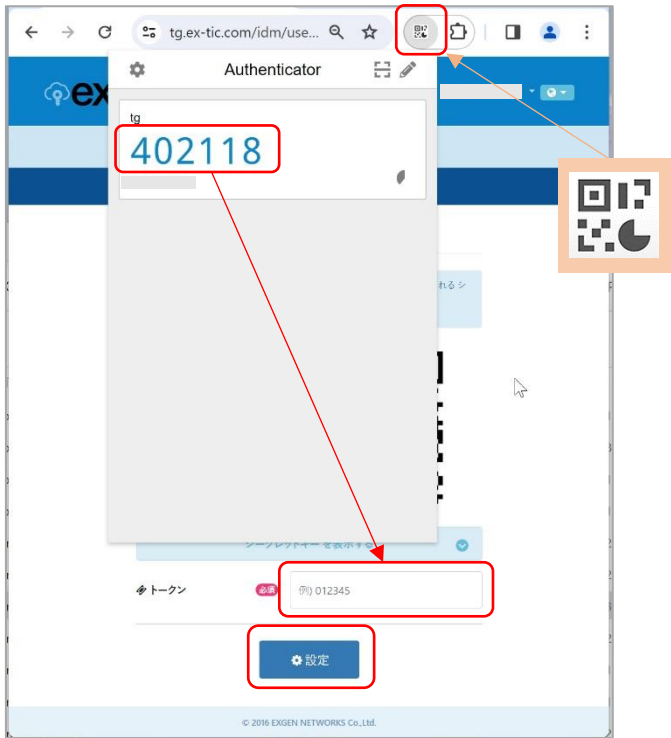
<p>1) 「7.1.Google Authenticator または Microsoft Authenticator を利用する場合」の「(2)統合認証システム(extic)での設定画面の表示」に記載している手順(1)～(5)と同様の手順を行ってください。</p>	
<p>2) QR コードの画面が表示されますので、ピン留めした[Authenticator]アイコンをクリックします。</p>	

- 3) [鉛筆マーク]をクリックしてください。



- 4) [+]マーク>[QR コードをスキャン]をクリックします。



<p>5) QR コードをカーソルで囲むよう指示されますので、Extic のアカウント画面に表示されている QR コードを囲みます。(カーソルを QR コードの左上に移動させ、マウスの左クリックを押しながら、右下へ動かすことで囲めます)</p> <p>6) 成功すると「●●追加されました。」というメッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。</p>	
<p>7) 設定完了後、Google Chrome の「Google Authenticator アイコン」をクリックします。</p> <p>8) ワンタイムパスワードが表示されますので、アプリ認証設定の「トークン」に入力し、「設定」をクリックします。</p>	
<p>9) [アプリ認証]が設定済に変われば完了です。</p>	

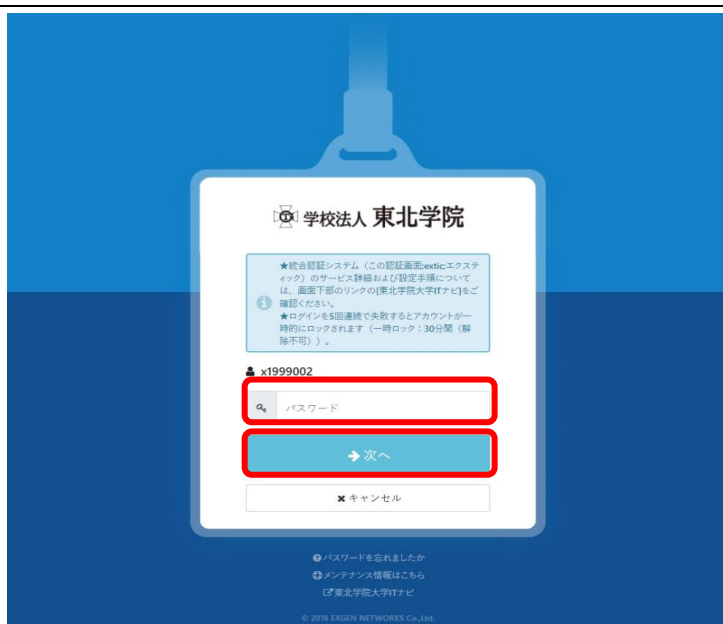
## 8. 設定ガイド③：多要素認証（メール認証）を設定する

以降手順上、毎回ログインを行うように記載されていますが、すでにログイン済みであれば、認証手順は読み飛ばしてください。また、多要素認証の FID02 認証未設定の前提で記載します。FID02 認証を設定済みの場合、パスワード入力画面のデザインが変わります。その際の手順は 4.3 節を参考にしてください。

- 1) 統合認証システム(extic) (<https://tg.ex-tic.com/>) にアクセスし、[ユーザー名]にログインしたい統合認証アカウントの ID を入力し、[次へ]をクリックします。

※Chrome や safari、Microsoft edge といったインターネット上のWEBページを見るためのWEBクライアントソフト（以降、ブラウザと呼ぶ）の言語設定により英語表記になる場合があります。

※統合認証アカウントの ID を半角英数字小文字で入力してください。







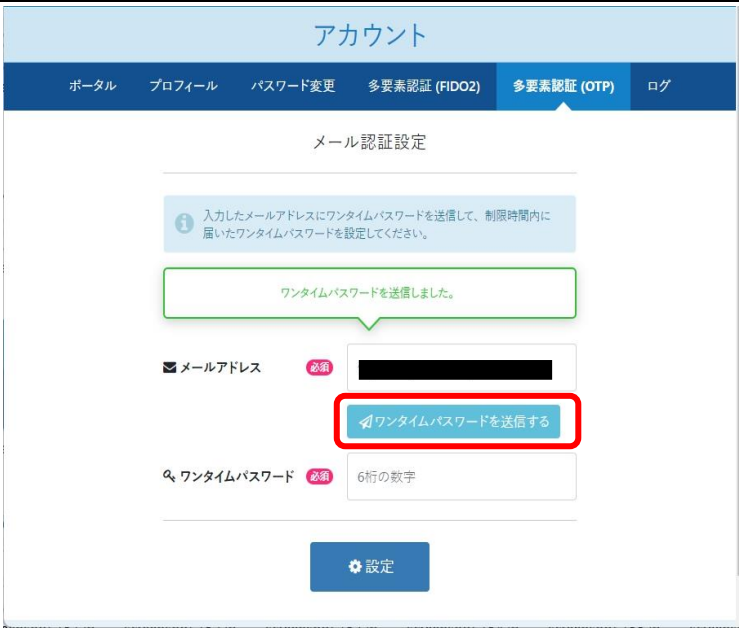
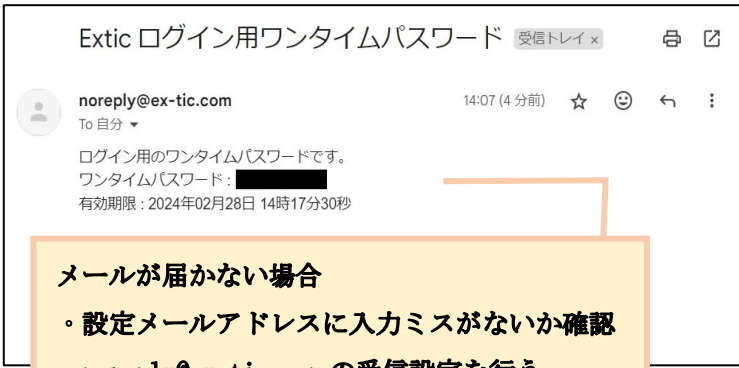
- 2) [パスワード]にログインしたい統合認証アカウントのパスワードを入力し、[次へ]をクリックします。

※ログインを 5 回連続で失敗するとアカウントが一時的にロックされ、ログインできなくなります（一時ロック：30 分間（解除不可））。





<p>3) 条件分岐</p>	<p>■初期設定の方</p> <p>初回パスワード変更後の流れであれば自動で 5) に進みます。</p> <p>■既存アカウントで多要素認証未設定の方</p> <p>自動で 5) に進みます。</p> <p>■既存アカウントで学内ネットワークから接続の方</p> <p>自動で 4) に進みます。</p> <p>■既存アカウントで多要素認証設定済で学外ネットワークから接続の方</p> <p>利用者の多要素認証の設定に応じて認証画面が異なります。</p> <p>4. 4 節記載のいずれかの認証方法で、多要素認証を行うと 4) に進みます。</p>
<p>4) ログイン後、画面上部の[多要素認証 (OTP) ]をクリックしてください。</p>	
<p>5) [メール認証]の[設定]をクリックします。</p> <p>※登録しているメールアドレスを変更したい場合は、[解除]をクリックし、表示されるポップアップの[解除]を選択してから再設定をします。</p> 	<p>■多要素認証設定状態により画面の状態が異なります</p> 

<p>6) [メールアドレス]に個人所有のメールアドレスを入力します。</p> <p>※パスワード再発行用メールアドレスと同じアドレスの登録を推奨します。</p>	
<p>メールアドレスに「tohoku-gakuin.ac.jp」と「tohoku-gakuin.jp」が含まれているものは登録できません。また、この設定は統合認証システム内でユニークである必要があります。複数のアカウントをご利用の場合は同一のアドレスは設定できません。</p>	
<p>7) [メールアドレス] の入力後、[ワンタイムパスワードを送信する]をクリックします。</p> <p>※このメッセージは送信を試みたという意味で、メールアドレスが存在せず、実際には送信が行えない場合も同様のメッセージがでます。</p>	
<p>8) [メールアドレス]に設定したメールアドレスでワンタイムパスワードのメールを受信できたことを確認します。</p> <p>※ワンタイムパスワードの有効期間は約 10 分です。</p>	 <p><b>メールが届かない場合</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・設定メールアドレスに入力ミスがないか確認</li><li>・noreply@ex-tic.com の受信設定を行う (やり方はご利用サービスにご確認ください)</li><li>・別のメールアドレスを試す</li></ul>

- 9) 8) で届いたワンタイムパスワードを  
[ワンタイムパスワード]に入力し、  
[設定]をクリックします。

- 10) [メール認証]が設定済に変われば完了です。

※[設定済]の横の[i]にカーソルを合わせると現在設定のメールアドレスを確認できます。

※メール認証の再設定を行い、登録しているアドレスを変更した場合は、併せて「パスワード再発行用メールアドレス」の変更も行ってください。(9章参照)

## 9. 設定ガイド④：パスワード再発行用メールアドレスの登録

以降手順上、毎回ログインを行うように記載がされておりますが、すでにログイン済みであれば、認証手順は読み飛ばしてください。また、多要素認証の FID02 認証未設定の前提で記載します。FID02 認証を設定済みの場合、パスワード入力画面のデザインが変わります。その際の手順は 4.3 節を参考にしてください。

- 1) 統合認証システム(extic) (<https://tg.ex-tic.com/>) にアクセスし、[ユーザー名]にログインしたい統合認証アカウントの ID を入力し、[次へ]をクリックします。

※Chrome や safari、Microsoft edge といったインターネット上のWEBページを見るためのWEBクライアントソフト（以降、ブラウザと呼ぶ）の言語設定により英語表記になる場合があります。



※統合認証アカウントの ID を半角英数字小文字で入力してください。



- 2) [パスワード]にログインしたい統合認証アカウントのパスワードを入力し、[次へ]をクリックします。

※ログインを 5 回連続で失敗するとアカウントが一時的にロックされ、ログインできなくなります（一時ロック：30 分間（解除不可））。



<p>3) 条件分岐</p>	<p><b>■初期設定の方</b></p> <p>初回パスワード変更、および、多要素認証の設定の流れであればすでにログイン済みですので、4)に進んでください。もし、初回パスワード変更、および、多要素認証の設定前であれば、自動的に設定が必要な画面に遷移しますので該当する手順をご確認ください。</p> <p><b>■既存アカウントで多要素認証未設定の方</b></p> <p>「7. 設定ガイド②：多要素認証（アプリ認証）を設定する」と「8. 設定ガイド③：多要素認証（メール認証）を設定する」の両方の設定を行ってから、画面上部の[プロフィール]タブを選択すると 5)に進みます。</p>  <p><b>■既存アカウントで学内ネットワークから接続の方</b></p> <p>自動で 4)に進みます。</p> <p><b>■既存アカウントで多要素認証設定済で学外ネットワークから接続の方</b></p> <p>利用者の多要素認証の設定に応じて認証画面が異なります。4.4 節記載のいずれかの認証方法で、多要素認証を行うと 4)に進みます。</p>
<p>4) ログイン後、画面上部の[プロフィール]をクリックしてください。</p>	

- 5) [パスワード再発行用メールアドレス]に個人所有のメールアドレスを入力します。

※多要素認証（メール認証）と同じアドレスの登録を推奨します。

The screenshot shows the 'アカウント' (Account) page with a navigation bar containing 'ポータル', 'プロフィール', 'パスワード変更', '多要素認証 (FIDO2)', '多要素認証 (OTP)', and 'ログ'. The 'プロフィール' (Profile) section is active, displaying fields for 'ユーザー名', '表示名', 'メールアドレス', and 'パスワード再発行用メールアドレス'. The 'パスワード再発行用メールアドレス' field is highlighted with a red box and contains the text 'example@example.com'. Below this field is a button labeled 'テストメールを送信する'.

メールアドレスに「tohoku-gakuin.ac.jp」と「tohoku-gakuin.jp」が含まれているものは登録できません。また、この設定は統合認証システム内でユニークである必要があります。複数のアカウントをご利用の場合は同一のアドレスは設定できません。

- 6) [パスワード再発行用メールアドレス]の入力後、[テストメールを送信する]をクリックします。

※登録だけで満足し、メール受信確認を怠り、登録ミス等を検知できないケースが多く発生しています。必ずテストメールを受信できることを確認してください。

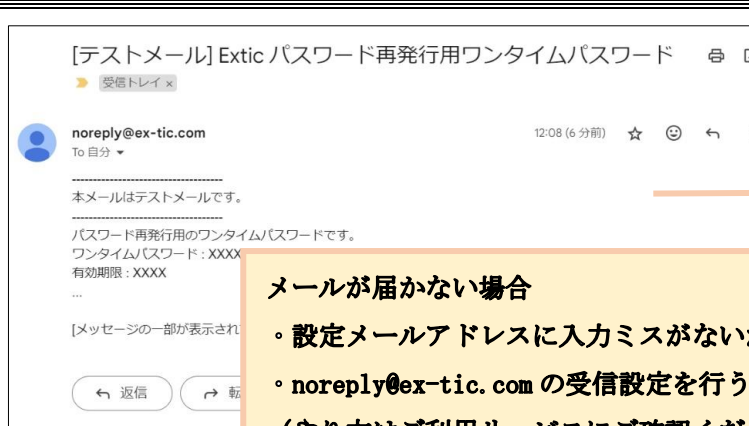
The screenshot shows the 'アカウント' (Account) page with the 'パスワード再発行用メールアドレス' field containing 'example@example.com'. The 'テストメールを送信する' button is highlighted with a red box. Below this button is a '保存' (Save) button. The footer of the page indicates '© 2016 EXGEN NETWORKS Co., Ltd.'.

- 7) [パスワード再発行用メールアドレス]に設定したメールアドレスに「テストメールを送信した」というメッセージが表示されることを確認します。

※このメッセージは送信を試みたという意味で、メールアドレスが存在せず、実際には送信が行えない場合も同様のメッセージがでます。

The screenshot shows the 'アカウント' (Account) page with a green message box at the top stating 'テストメールを送信しました。' (Test email sent). The 'パスワード再発行用メールアドレス' field is highlighted with a blue box. The 'テストメールを送信する' button is also visible below the field. The '保存' (Save) button is at the bottom.

- 8) [パスワード再発行用メールアドレス]に設定したメールアドレスでテストメールが受信できたことを確認します。



#### メールが届かない場合

- ・ 設定メールアドレスに入力ミスがないか確認
- ・ noreply@ex-tic.com の受信設定を行う  
(やり方はご利用サービスにご確認ください)
- ・ 別のメールアドレスを試す

- 9) テストメールの受信が確認できたら、再度設定画面にもどり、[保存]をクリックします。



右のようなメッセージがでた場合は、5) に戻り、別のメールアドレスを設定ください。

入力されたパスワード再発行用メールアドレスはすでに登録されています。別のメールアドレスを入力してください。

入力されたパスワード再発行用メールアドレスは利用できません。別ドメインのメールアドレスを入力してください。

- 10) プロフィール更新の結果の画面が表示されますので[結果]が処理中の表示から変わるまで、何度か[更新]をクリックします。

- 11) プロフィール更新の[結果]が成功となれば、パスワード再発行用メールアドレスの登録は完了です。

※パスワード再発行用メールアドレスの再設定を行い、登録しているアドレスを変更した場合は、併せて「多要素認証設定のメール認証」の登録も変更してください。(8章参照)

